

ソファができるまで

工場見学では
この仕事が見れる！



日田の家具

日田は家具・ソファの産地です。江戸時代に幕府が杉の植林を奨励し、スギ造林の基礎が築かれました。それが拡大して日本有数の杉の美林と言われる「日田杉」となり、現在の日田の家具作りに繋がっています。今回は工業展の工場見学の時から、日田家具工業会を紹介します。

人が集まる場所にしたい

日田の歴史と家具

家具の主要な産地と言えば北海道の旭川家具、岐阜県の飛騨家具、福岡県の大川家具などありますが、日田も家具の産地です。これには、日田が多くの人やモノが行き交い繁栄した「天領」の地であったこと、周囲を山々で囲まれ、**自然の恵みを生かした産業**として林業や木工が盛んになったことが関係します。家具の中でも「脚物家具」と呼ばれるソファやイス作りが盛んな日田。現在も時代とともに新しいモノを作り続け、情報を発信し続けています。

日田家具を広め、そして日田



日田家具工業会 中村広樹さん

を人が集まってくる場所にしたい。職人や働き手、日田家具のファンが集まるために、工場を何をして、どのようなモノが作られ、どこで使われているかを知ってもらうためにも、工場見学などで日田の人にもまず発信していきたいと日田家具工業会の中村広樹さんは語ります。

日田は「酒・陶器・下駄…」などいろんなモノづくりの産地です。こんなに多くのモノを作っている場所は全国でも少ないのではないのでしょうか。それを皆さんに分かってもらうためにも是非、工業展の工場見学に来て職人が作る実際の工程を見て、感動を味わってみませんか。



▲日田家具衆
日田の実直なモノづくりを伝承し続ける事で、働き手も買い手も集まってくる「唯一無二のモノづくりの聖地」を醸成するために集まったソファ産地日田の若人衆。今回の工場見学には家具衆メンバーの企業も多数参加します。

家具工場 働く人



白木 秀さん

日田出身で、高校を卒業し「日田の会社で東京の一流施設のおしゃれな家具を作っている会社がある」と知り就職。布の裁断などを経験し現在は営業職に。この仕事をしていて嬉しかったことは「商品の寸法や仕様が打ち合わせた通りにピッタリ現場に納まったとき」と話す白木さん。
「ここだったら何でもできる」というイメージをお客様に与え、そしてグレードの高い商品を作り、もっとファンを作っていくことが目標だと語ってくれました。

家具工場の働き手は何を思い、何にやりがいを感じ仕事をしているのでしょうか。今回はベストリビング(株)で働いている二人にインタビューをしました。



梶原和寿さん

日田出身で、イスが大好きな梶原さん。求人に「すごい数のイスを作っている」と書いてあるのを見て就職し、現在は設計を担当している。この仕事をしていて嬉しかったことは「平面の落書きから立体的なモノに出来上がる時」と話します。
作ろうと思えば色々なものを作れる会社です。これからもたくさんの経験を積み、お客様の要望に応えることができる技術を磨き、働いていくことが目標だと語ってくれました。